

美術史演習

選択 2単位

鎌田 純子

1. 授業の概要(ねらい)

受講生が美術史の様々な研究方法について論理的に学ぶために、毎回、様々な方法論を用いた研究論文を紹介する。日本美術史研究の論文が中心となる。

2. 授業の到達目標

受講生が美術史研究の様々な方法論を学び、自分の研究に応用できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

学年末試験(80%)と平常点(20%)をもとに評価します。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

なるべく多くの論文を読むこと。美術館、博物館へ行き、自ら何かを発見する機会を増やすこと。

6. その他履修上の注意事項

指定した展覧会見学をしてもらうことがあります。オンライン授業にすることがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方と内容の確認
- 【第2回】 美術史の基本ーディスクリプション①
- 【第3回】 美術史の基本ーディスクリプション②
- 【第4回】 比較研究①
- 【第5回】 比較研究②
- 【第6回】 比較研究③
- 【第7回】 イコノロジー研究①
- 【第8回】 イコノロジー研究②
- 【第9回】 文字史料の活用①
- 【第10回】 文字史料の活用②
- 【第11回】 文字史料の活用③
- 【第12回】 画論を読む①
- 【第13回】 画論を読む②
- 【第14回】 展覧会見学会
- 【第15回】 まとめと試験